

前回会議・第17回専門部会の会議結果の概要

■第8回 栗東市中小企業振興会議

1. 日時：平成27年1月30日10時00分～12時00分

2. 協議概要

- ・目標を立てられるものについては目標を立てたい。ロードマップにあげているもの以外にも緊急性の高いものがあれば、事業を進めていく。
 - ・この会議で何を決めて、何をやっていくのか、常に検証する必要がある。
 - ・こういった取組みについては、基本を押さえてやるのが大切。国が打ち出している成長戦略のなか、政策がどんどん出てきており、そういったものを反映できるようにしていただきたい。
 - ・ロードマップは国の政策にあわせてスピード感のあるものにしたほうがよい。
 - ・中小企業の事業者には情報を確実に届けるということが必要。
 - ・ロードマップはあくまでも手順書であって、具体的なものを進めるための基準である。それぞれが、ひとつひとつロードマップにそって具現化をしていく。
 - ・ロードマップだけ公開したとしても市民は理解できないため解説版のようなものが必要。
 - ・昨年の内容から優先順位をつけて選んだことはいいことではあるが、どれに集中して取り組むのか決めていかないと条例が生きてこない。
 - ・栗東周辺の守山市、草津市、湖南市には大型店舗があり、衣料などは市内で買わない。栗東のこのような状況をどうやってささえるのか、考える必要がある。
 - ・これから消費者のニーズ調査を行なうなどあるが、市役所でやろうとしているものが商工会で行ったものと同じものがあるので、活用すれば時間の短縮にもなる。
 - ・若手経営者で集まって意見交換など行なって、具体的にできること、何ができるかということをお話しあい、できることから実行していきたい。
 - ・わかりやすいツールでアクションを起こさないと、中小企業の経営者にとっては、わかりにくい。
 - ・商工会の職員には一年に最低一度は会員のところを訪問し、会員の経営状況などの内容をつかんだうえで各社を支援するように言っている。個別に相談できるようにとっている。ロードマップにおいて、何を具体的に実施するのか、予算にそったもので何をするのか、プランを作らないといけない。
 - ・本日のまとめとして、ロードマップの内容はこれでいい。具体的な内容のものをつくる。勉強会を開催する。ということになる。
 - ・本日、いただいた議論については、今後ロードマップを具体的にすすめていくうえで参考にさせていただく。また、具体的なものをどのようにするのか決めて行きたい。意見が出ていたスピード感という部分も意識していきたい。
-

■第17回 専門部会

1. 日時：平成27年3月20日 15時00分～16時30分

2. 協議概要

- 今回、来年度から何を始めるのか検討していきたい。
- 前半期ロードマップを作成するにあたり、中小企業振興会議のほうで、わかりにくい、スピード感のあるものにしてほしい、情報提供、具体的なアクションを入れるように提案があり、参考にロードマップの解説版を作成した。
- 具体的な部分を説明するものがないと思う。問題解決型の解説版がいい。補助金が多数あるなかで、どうやって探すのが問題であり、探しやすいものでほしい。
- 解説書を全部読むのは大変であり、必要なところを簡単に探したい。
- 問題点を浮き彫りにすることにしてセミナー等を開催してはどうか。
- 地産地消については情報提供し現場に来てもらう。面白いものであれば消費者が勝手に動く。
- 若い人たちに栗東を理解してもらうために、現場に足を運んでもらう仕掛けを考えればいい。企業見学を進めてみればどうか。産業観光（少人数）は面白いのではないか。私にとっても異業種見学は面白い。栗東の人に栗東の中を見てもらうほうがいい。
- 解説版はこれでよい。目標に到達する仕掛けが必要。
- もう少し事業者に参加してもらう仕掛けが必要。今年はアクションを起こして行きたい。
- 資料が多いので、一つにしてはどうか。
- ロードマップの矢印の下に解説版の文章を入れたらどうか。
- 自分に必要なところは、解説版の中で一つか二つなので、それを簡単に見つけられるように。
- 中小企業の課題は限られている。資金調達、人材確保・育成、販路、起業などである。
- 関係機関の連絡先を後ろにつけてはどうか。
- エコという切り口はどうか。大阪で都市近郊野菜を「大阪もん」として売り出している。「栗東もん」を作ってはどうか。出荷したものにシールを貼ってもらい、他の地域で売り出せば、栗東の名前が売れる。シールを貼ってブランド力を高めてはどうか。
- 平成27年度は具体的に動かないといけない。
- 作業部会を立ち上げ具体的に進める必要がある。ロードマップの1～5の項目ごとに部会を作ったらどうか。
- 項目の1、2、3とまず部会を立ち上げ、まず作業を始める。このような感じで進めてみてはどうか。
- このような形でほしい。人選については1つの部会、4人～5人。それぞれの部会に専門部会員に入ってもらい、あと各部会2～3人は探して行きたい。

【まとめ】

- ロードマップの解説版については、事業者が見やすいように工夫する
- 作業部会を立ち上げ、具体的に進めていく。